

# 接続位置の選定



## <目的>

高速道路と主要な幹線道路  
を接続し、  
広域的な  
道路ネットワークを形成

地域振興や  
交通の円滑化を図る

- ① 大谷街道
- ② 新里街道 (大谷PA)
- ③ 鹿沼街道

検討

大谷街道への接続が  
最も有効

# 接続位置の選定

## ■ 設置位置の考え方

- ① 高速道路の利便性向上：高速道路の利用台数が見込める
- ② 整備効果：中心市街地や大谷エリアまでの移動時間がかからない
- ③ 地域住民への安全性：住宅地への車両混入等による事故の危険性が低い

### 大谷街道（現計画）

### 新里街道（大谷PA）

#### 平面図



#### ① 高速道路の利便性向上

- ・高速道路の利用圏域が最も拡大
- ・計画交通量が約5,000台／日

- ・高速道路の利用圏域が宇都宮ICと重複
- ・計画交通量が約2,200台／日

#### ② 整備効果

- ・中心市街地：県南方面から約8分短縮  
県北方面から約7分短縮
- ・大谷エリア：県南方面から約12分短縮  
県北方面から約3分短縮

- ・中心市街地：県南方面から約1分短縮  
県北方面から約4分短縮
- ・大谷エリア：県南方面から約1分短縮  
県北方面から短縮なし

#### ③ 地域住民への安全性

- ・東北自動車道から中丸野沢線（上り線）や大谷街道（下り線）までの間が立体化となり、生活道路と分離され、住宅地への車両混入等による事故の危険性が低い。

- ・スマートICの利用車両が大谷PAから新里街道までの生活道路を通過するため、住宅地への車両混入等による事故の危険性が高い。

#### 評価

○

△

※鹿沼街道への接続については、高速道路の利用圏域が鹿沼ICと重複し、また、中心市街地や大谷エリアへの所要時間が現計画よりもかかる。

加えて、東北自動車道と鹿沼街道との高低差が大きく、施工規模が明らかに大きいため、実現性が乏しく、採用していない。